

人は、他者が社会的交換において協力するかどうかを、どの程度見抜くことができるだろうか。この問題に取り組んだ先行研究 (Frank et al., 1993; 菊地ら、1997, Verplaetse et al., 2003) の結果は、これまでのところ一貫していない。本研究は、これまでの一貫しない結果が判断対象の魅力度の影響によるものだと考え、他者の協力的行動の推測に対し、魅力度の及ぼす影響を検討した。具体的には、過去に信頼ゲームをプレイした参加者の動画を撮影し、その動画を無音声で判断者に見せ、動画人物の利他性の判断をさせた。実験結果から、1) 過去に信頼ゲームで非協力的に行動した男性は、協力的に行動した男性よりも魅力的と評されること、2) 魅力的な人物は協力的だと判断される傾向があること、にもかかわらず、3) 判断者はランダムよりは正確に協力的行動を推測できることが示された。